

令和6年度横手明峰中学校コミュニティ・スクール基本構想

＜地域とともに目指す子どもの姿（共通の目標、育みたい資質・能力）＞

志をもち 自ら磨き 未来を切り拓く生徒の育成

～持続可能な社会の創り手を目指して自己理解力、他者理解力を育む～

- 志をもつ（知）自ら課題や問いを見出し、粘り強く追究・解決する生徒
- 自ら磨く（徳）自他の理解を深め協働してよりよく成長しようとする生徒
- 未来を切り拓く（体）社会に目を向け、夢の実現に向かってやり遂げようとする生徒



学校と地域の連携・協働による取組

貢献・奉仕

- 生徒会 MHR 委員会や SDGs 委員会を中心とした発信・活動
 - ・環境保護、ゴミ問題、緑化作戦、除雪等の地域 MHR 活動
 - ・日常にある SDGs 活動（省エネ、リサイクル、温暖化抑制等）
 - ・MEIHO-FES 発信活動、保育園・福祉施設訪問や贈物
- 地域伝統文化・民族芸能の継承、地域農業体験と農業振興
- 防災に役立つ情報発信、避難所運営

連携・協働

- 総合的な学習の時間「共生・共創～明峰から持続可能な未来を拓く～」
 - ・「明峰から食農の持続可能な未来を拓く」（1年）
 - ・「明峰から産業の持続可能な未来を拓く」（2年）
 - ・「明峰からふるさとの持続可能な未来を拓く」（3年）
- 地域局、交流センター、企業・団体、福祉協議会等との連携・協働

支援・評価

- 学校運営協議会（学校関係者評価委員会）年3回の開催
 - ・CS構想と計画、学校経営方針・重点施策の説明・承認および評価
- 学校評価（職員自己評価）や各種アンケートの開示
- 地域コーディネーターを核とした学校と地域団体、ボランティア等との連絡・調整
- MEIHO-FESの開催
 - ・学んだことを関連付け「7つの能力・態度」を働かせる発信・表現の場

＜学校経営の重点事項＞

- 支持的風土を大切にしたい学校づくり
 - ・合い言葉が大事にされ、学級・職員室ともに風通しのよい学校
 - ・目を見て笑顔で挨拶ができる全校生徒と教職員
 - ・自己有用感や自己肯定感、表現力が育つ異学年交流の工夫
 - ・チームで動く特別支援教育の充実といじめ、不登校の早期発見、即時対応
- 確かな学びを獲得する授業づくり
 - ・明峰メソッドCTRの実践による深い学びの実現と言語活動の充実
 - ・ICT活用による情報活用能力、読書、NIE、学習環境の充実によることばの力の育成
- 持続可能な社会の創り手の育成
 - ・SDGsの意識の高揚とESDの視点（7つの能力・態度）に立った学習活動の推進
 - ・中学校区小中学校の行動連携と情報連携の推進
 - ・地域に開かれ、家庭・地域とともにある学校づくり（学校運営協議会の円滑な推進）